

平成29年度 第5回がまごおり協働まちづくり会議議事要旨

日時 平成30年3月16日（金）

午後2時～4時45分

場所 蒲郡市役所新館6階601会議室

1 開会

事務局より配布資料の確認、途中退席者の確認

2 議題

(1) 第4回会議要旨の確認（別紙1）

議事要旨について、事務局より口答説明

特に意見もなく承認

(2) 平成30年度助成金事業審査結果について（別紙2-1、別添）

はじめの一步随時募集について（別添2-2）

はじめの一步随時募集要項について（別紙2-3）

審査結果について、事務局より説明

- ・審査制度を厳しくする、緩くするのはどちらも一長一短。厳しくすると採択団体が少なくなり、緩くすると予算内に収まらず採択団体を絞らなければならない。
- ・誰よりも情熱をもって取り組んでいるのに「ほとぼしる情熱支援部門」という名称に違和感がある。
- ・助成金創設時から12年経っているので、別名称を検討してもらいたい。
- ・はじめの一步随時募集は今年度も実施する。募集回数については、団体側からすると多くのチャンスがあったほうがよい。ついては、6、8、10月に審査を実施していく。
- ・10月審査に応募したいとなると、事業実施期間が11～3月までしかなく、もったいなく感じてしまうが、はじめの一步部門はまずチャレンジするためのもの。少しの期間であっても取り組んでみて、4月からはほとぼしる情熱支援部門へ移ってもよい。

(3) 平成29年度モデル事業について

拾石町総代より、事業終了報告

- ・他地区で同様の事業を実施する際に、アドバイスをいただきたい。
- ・他総代区にも防災に対する準備の必要性が伝わればよい。
- ・予算面でなかなか実施が難しいところもある。モデル事業として認めていただき助かった。
- ・防災訓練は組長に出席を依頼している。また、1組おおよそ10世帯ぐらいで構成されており組長も1年で交代していくので、10年で一回りする計算。10年続けたい。
- ・高齢化が進んでおり、高齢者をどのように避難させるのが課題。若い人が少ないのも困っている。
- ・市全体で高齢化が進んでいる中で、どの地域にも当てはまる課題であり参考にできるモデ

ル事業だった。

- ・愛知工科大学とのコラボ、夜間の避難訓練、災害後の生活再建の3点を今後の課題としてほしい。

(4) 平成30年度モデル事業について

委員からの意見の集約について（別紙3-1）

事務局作成案（行政課題提案型）について（別紙3-2）

人材、育成のための連続講座を開催することについて（別紙3-3）

モデル事業、人材育成連続講座について事務局より説明

- ・どの団体も次の担い手不足が深刻である。ただ、必要な担い手は各団体で異なるため、調査をした方がいい。
- ・高校生、大学生から自分のまちに対する意見が聞きたい。そういう機会を作りたい。
- ・以前全くの予備知識なく研修に参加して、問題が山積していることが分かった。そこで、ちょっとやってみようかなという軽い気持ち活動をスタートしたことがある。同じように感じてくれる人がたくさん現れたらいいと思う。
- ・研修も名古屋で開催されることが多く、参加することのハードルが高い。講師を蒲郡に呼んでもらって、開催すれば参加しやすくなる。
- ・まちづくりに興味がない人にどのように関心をもってもらうかが必要。特に定年退職世代に対するボランティア加入促進を充実させていく施策には価値があると思う。
- ・団体の会員増加をするためには、市全体の人口増加を結び付けて考えていく必要がある。
- ・現役で働いている時に、まちづくりに関心をもってもらえるとよい。
- ・市役所を退職した方はスキルがある人が多く、加入してほしい人材。そういった人向けの講座を開いたらよい。
- ・自分のスキルに気づいていない人が多い。プロによる講座に参加することで「この力が団体にとってプラスになる」ということを気づかせてあげることが必要。

(5) 委員の交代について（別紙4）

委員の交代について、事務局より説明

吉村新委員について、経歴等を紹介

退任委員より挨拶

(6) その他

平成29年度実績報告会について、事務局より説明

日時：平成30年4月22日（日）午後1時30分～

場所：蒲郡市民会館 大会議室（1階）

次回（平成30年度第1回）開催について

事務局より次回日程を提案

4月26日（木） 午前10時～ 601会議室 で決定